



鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)

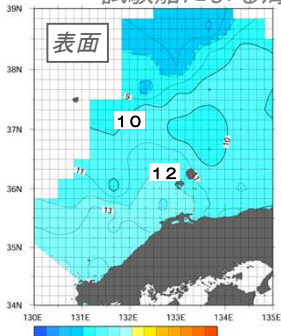
3月中旬 12.4℃

平年より0.5℃高め

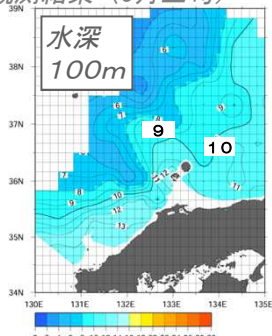


発行 鳥取県水産試験場 (電話:0859-45-4500)

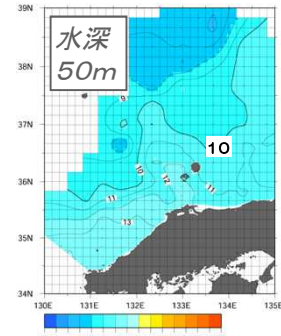
試験船による海洋観測結果 (3月上旬)



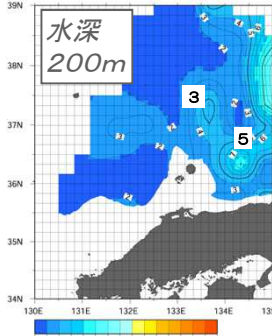
鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は12℃前後で先月とほぼ同値であり、平年並の値となっています。



隠岐諸島周辺海域は10℃前後で先月とほぼ同値でした。



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は12℃前後で先月とほぼ同値であり、平年並の値となっています。



但馬沖北緯36° 20' 付近に暖水塊が発達しています。

3月上旬の水塊配置と対馬暖流



- 鳥根沖冷水の沿岸への張り出し：鳥根沖冷水は発達傾向にあり鳥根県沖から隠岐北東海域にかけて広がっています。
- 沖合の対馬暖流：対馬暖流は鳥根沖から隠岐海峡を通過する主流と隠岐北方を迂回する流れに分枝しています。

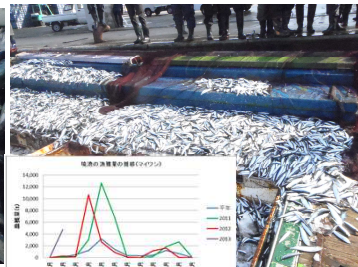
*フェリー「おき」による隠岐海峡の水温情報や県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=72009>に詳しく掲載しています、ぜひご利用ください。

水産試験場

今年も境港にマイワシがやってきました!

境港に水揚げするまき網漁船では、2月中旬頃から隠岐海峡周辺海域で、カタクチイワシやウルメイワシに混じりマイワシを漁獲するようになりました。マイワシの漁獲量は2月だけで既に4,000トンを超えており、3月も中小羽銘柄を中心に豊漁(3月21日時点:約5,400トン)が続いています。

水産試験場では市場調査を行い、漁獲物の体長や体重、生殖腺の発達具合などを調べています。マイワシは生殖腺が発達した個体が多く、間もなく産卵期を迎えるものと思われます。昨年、一昨年に引き続いてマイワシの豊漁が期待されます。



★水産課からの情報★

鳥取県が出店し、水産物をPR

2013食博覧会・大阪開催

4年に一度開催される大阪の食の博覧会に今年は鳥取県も参加し水産物をPRします。皆さんもぜひご来場ください!

【開催日】平成25年4月26日～5月6日



【主な出店内容】

- ハタハタ・パイの新しいメニュー提案【鳥取県漁協】
- 養殖ギンザケ・陸上養殖サバの試食【臨海研究所・鳥取県水産課、栽培漁業センター】
- 水産技術・商品の紹介(加工大賞等)【(有)山芳海産、(株)もさろぎ、田手商店、(有)小倉水産食品、赤崎町漁協】
- 水温技術・商品の紹介【(社)水温協会、(株)食のみやこ鳥取(わたいな)、(株)鳥取県食】

★ 関西本部からの情報 ★

<水産加工品をテーマにした商談会を開催しました！>

2月13日に鳥取県関西本部にて、水産加工品をテーマにした商談会を開催しました。関西のバイヤーに人気があった商品は、トコハタ一夜干し、開きのどくろ一夜干し、紅ズワイガニ饅頭、アカモクなどでした。すでに居酒屋などと商談が成立した商品もあり、その他の商品も鋭意商談継続中です!

・関西のバイヤーからは、地元の首ながらの商品を求める声が多く聞かれました。



担当: 関西本部 宮迎
電話: 06-6341-1988

■今月の漁業許可証更新情報

平成25年3月31及び4月30日で許可の期限が切れる漁業種類については以下のとおり

○まき刺網

【1そうまきぼら持刺網(中海・境水道除く) (許可期限 H22.4.1-H25.3.31)】

○小型定置(許可期限 H22.4.1-H25.3.31)

○地びき網(許可期限 H22.5.1-H25.4.30)

■遊漁船登録業者の皆様へ・・・遊漁船登録に保険期間等の変更があった時は、変更申請をお忘れなく

平成24年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

ニチモウ株式会社

本社 東京都品川区東品川二丁目2番20号(天王洲船館ビル) 〒140-0002
電話 03-3458-3020(代表) FAX 03-3458-3088 <http://www.nichimo.co.jp/>
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

栽培漁業センター

第3回キジハタ(あこ)勉強会を開催しました。

キジハタ資源を増やし、たくさん漁獲できるよう、2月22日に倉吉体育文化会館にて、今年度の種苗生産(稚魚をつくり、育てること)や放流試験の成果をはじめ、キジハタの資源状況や来年度の試験について、漁業者や漁協関係者と勉強会を行いました。



キジハタ栽培漁業の推進協議会の立ち上げについても、活発な意見交換が行われました。4月からは、種苗生産の更なる低コストを目指した試験に組みます。また、漁業者が主体の放流体制に移行します。今後の成果にご期待ください。

ご来場いただいた皆さん、ありがとうございました。



共和水産株式会社

代表取締役会長 相田 仁

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL 0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530